

第41回マルちゃん杯九州少年柔道大会 実 施 要 項

1 目 的

柔道の試合を通じて心身の鍛錬及びその技能を磨き、将来を担う九州地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しくそしてたくましい少年の健全育成を目的とする。

2 主 催

大分県柔道連盟 東洋水産株式会社

3 主 管

大分県柔道連盟

4 後 援 (予定)

(公財) 全日本柔道連盟	九州柔道協会	大分県教育委員会
(公財) 大分県スポーツ協会	大分市	大分合同新聞社
OBS大分放送	TOSテレビ大分	OAB大分朝日放送
マルミヤストア		

5 日 時

令和8年6月14日 (日) 開会式9:30 (開場8:30) /終了16:30 (予定)

6 会 場

クラサス武道スポーツセンター [大分市大字横尾1351 大分スポーツ公園内]

※大分米良インターより車で10分

選手・監督・役員・補助員 ～ 1F 玄関入り口

観客・応援 ～ 2F観客席入り口

7 日 程

開場	8:30	
審判・監督会議	8:50	
開会式	9:30	(多目的競技場) ※全チーム参加
試合開始	9:50	
閉会式	16:10	
終了予定	16:30	

8 試合種目

団体試合とし、小学生の部、中学生の部、中学生女子の部の3部制とする。なお、各部において1団体につき1チームを上限とする。ただし、開催県については2チームを上限とする。

9 参加資格

- (1) 出場するチームは、令和8年度の全日本柔道連盟登録をしている団体(学校、柔道場、クラブ、スポーツ少年団等)であり、選手は出場するチームを通して競技者登録をしていること。勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合には、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。
- (2) 監督不在のチームは、出場することができない。監督は、複数のチームの監督を兼任することは認めない。部制を問わず2チーム以上の監督を兼務することはできない。2チーム以上出場の場合は、それぞれ別の監督とすること。また、監督は全日本柔道連盟指導者資格、もしくは学校顧問特例資格を保有し、全日本柔道連盟に登録した者とする。
- (3) チームの構成は、小学生(3年生以上)・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中学生に在籍している者とする。なお、監督は、参加選手の大会出場意思確認及び健康状態を把握し、保護者並びに団体の承認を得ること。
- (4) 脳震盪対応について

- ア 大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。

10 チーム編成

(1) チームの編成

ア 小学生・中学生男子の部 監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とする。

イ 中学生女子の部 監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。

※男女の混合のチーム編成は、小学生の部のみとし、中学生は認めない。

(2) オーダーの編成

選手のオーダーは、段、級自由であるが、事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとし、チーム編成に満たない場合(欠員)及び怪我等により補欠起用が生じた場合でも、改めて体重の重い順に大将より配列すること。また、試合中に負傷等で欠員が生じ5名の編成ができない場合も、大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする。

【例】※チーム編成が4名の場合は、大将・副将・中堅・次鋒とする。(体重重い順)

※チーム編成が3名の場合は、大将・副将・中堅とする。(体重重い順)

(3) 選手変更

ア 参加(補欠を含む)申込提出後の変更は、原則として認めない。

イ 申込み後～大会当日までにおいても、プログラムに記載されていない選手の変更は認めない。

ウ 選手の負傷等でやむを得ない場合、また当日試合中に負傷し変更する場合は、補欠より補充し、10の(2)に従い編成する。

エ 負傷等により変更となった選手は、以後の試合に出場できない。

オ 試合当日の選手変更については、大会本部の選手変更係から用紙(複写式)を受け取り係に提出すること。

11 試合規則

- (1) 試合は令和8年4月現在の国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」による。なお、以降に少年大会特別規定等が変更になった場合は、審判会議での申し合わせ事項により決定するものとする。
- (2) 試合時間は2分とする。但し小学生及び中学生男子の部における準々決勝戦以上、また、中学生女子の部における準決勝以上は3分間とする。
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは双方の選手間に技による評価(有効以上)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

12 試合方法

- (1) 試合は、各部ごとのトーナメント戦で行う。
- (2) 中学生男子の部は5位決定戦を実施する。
- (3) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - ア 勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - イ アで同等の場合は、「一本勝ち」(それと同等の勝ちを含む)による勝者の多いチームを勝ちとする。
 - ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - エ ウで同等の場合は「有効」による勝者の多いチームを勝ちとする。

オ エで同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

カ オで同等の場合は、代表選で勝敗を決する。

- (4) 代表戦においては、通常の試合時間(12の(3)に記載)の試合を行い、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する(GSは行わない)。出場する選手は「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。

1.3 表彰

- (1) 各部門別優勝、準優勝、第3位(2チーム)には大分県柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状、優勝杯(トロフィー)、副賞を授与する。
- (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し各部門1名にフレッド・ワダ杯を授与する。
- (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し小学生・中学生男子の部5名中学生女子の部は3名に優秀選手賞を授与する。
- (4) 出場選手全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。

- (5) 2026年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会への派遣

〈9月20日(日) 東京武道館 東京都足立区綾瀬3-20-1〉

小学生の部上位4チーム

中学生男子の部上位6チーム 〈5位決定戦(2チーム)を行う〉

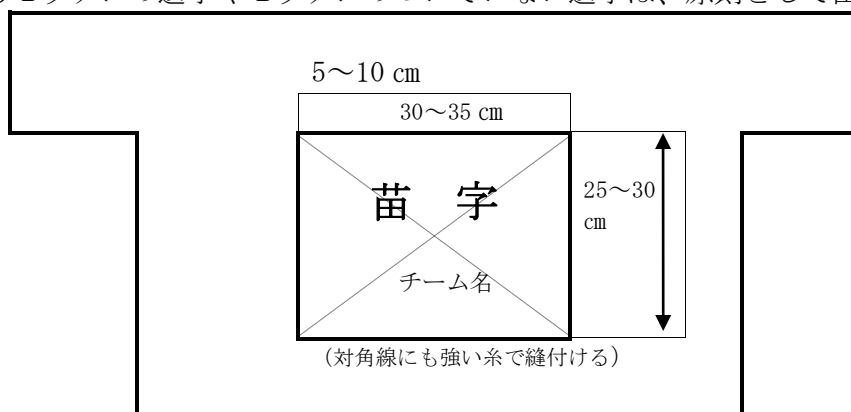
中学生女子の部上位2チーム

※全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。

※同一所属でA・B複数チームが出場していても全日本少年柔道大会への派遣は1チームのみとする。

1.4 ゼッケン

柔道衣に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。9(1)に「選手は、出場するチームを通して競技者登録をすること」と規定していることにより、ゼッケンのチーム名についても大会に申し込みをした「学校」「道場」「クラブ」「スポーツ少年団」等の単位での表示に統一し、チーム名と異なるゼッケンの選手やゼッケンのついていない選手は、原則として出場を認めない。



- ① 布地は白色の晒太綾、サイズは概ね横 30~35cm・縦 25~30cm とする。
- ② 後ろ襟から 5~10 cm 下部に点線部分を縫い付ける(対角線も縫い付けること)。
- ③ 上 2/3 に苗字、下 1/3 にチーム名をゴシック体または明朝体(楷書)で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。
- ④ チーム内に同じ性別で同姓(苗字が同じ)選手がいる場合は、名前の1字を記載
- ⑤ 記載するチーム名は略称を認めるが、チーム内で統一すること。

1.5 傷害保険

- (1) 参加者全員を主催者負担で傷害保険に加入する。(参加者は必ず健康保険証を持参すること)
- (2) 本大会の会場において事故が発生した場合、主催者が予め手配した医師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断した上、搬送を行ったりするが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り、主催者および医療関係者は責任を負

わない。

- (3) 万一の事故発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

1 6 参加申込及び申込期限

- (1) 申し込み期限 令和8年5月15日(金) 17:00 までに入力(それ以降は受け付けません。)
(2) 申し込み先 下記のリンクまたはQRコードから入力してください。

<小学生の部>

https://docs.google.com/forms/d/1JIfub-XQth_ejFu1hJS7FMkE_NLmfUHxfNjXthoGUAM/edit



<中学生男子の部>

<https://docs.google.com/forms/d/1x2fEKfBS05TQzJxryVQWAjccHkHhMQJwWsLuPALFQjw/edit>



<中学生女子の部>

<https://docs.google.com/forms/d/1uCoaLbAk88JzFxpBtPTaBZXkUXIqn5djtB36R5mJECc/edit>



1 7 抽選

2026年5月30日(土) 大会事務局において大分県柔道連盟及び東洋水産株式会社の関係者立会の下に行う。

1 8 参加料

大会参加料は、無料とする。

1 9 審判・監督会議

日時：2026年6月14日(日) 8時50分～

会場：クラサス武道スポーツセンター 道場1

参加チームの監督又は責任者及び審判員は、出席すること。事情により出席出来ない場合は申し合わせ、協議を了承したものとして取り扱う。(協議決定事項等の資料は、大会当日にも準備する)

2 0 傷害保険

- (1) 参加者全員を主催者負担で傷害保険に参加する。なお、責任者は、大会出場に当たり事前に選

手の体調の異常がないことを確認しておくこと。

(選手は、健康保険証「コピー可」を必ず持参すること)

- (2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、保険対象範囲以外の責任は負わない。
万一、事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして万全の対策をたてておくこと。

2.1 練習会場

クラサス武道スポーツセンター

6月13日(土) 14:00 ~ 16:00 (道場3)

6月14日(日) 8:30 ~ 9:20 (メインアリーナ) (道場3)

2.2 その他

- (1) 選手・保護者等の応援者の昼食・宿泊については、各自で用意すること。
斡旋販売はありません。
- (2) 申込用紙に記載されている事項(氏名・身長・体重)等は、大会プログラムに掲載されます。
また、大会における成績・写真等が新聞・雑誌・ホームページ等に掲載されることを、了承されたものとして取り扱わせていただきます。
- (3) 女子選手のTシャツは白無地で認められたもの。
- (4) 出場チームの大会会場への入場については、監督1名・選手7名の計8名とする。
(中学生女子は計5名とする。)
- (5) 監督の服装は、審判員に準ずることとし、著しく反することは認めない。
- (6) 柔道精神に反する著しい抗議・言動・応援等については、厳重に対処する。
- (7) 開会式・閉会式等を含み、柔道精神に基づいた大会運営への協力を応援者も含め、各チームともお願いします。
- (8) 大会会場での応援席の事前確保は、前日・当日ともご遠慮ください。

【監督及び保護者の方へ】

1. 試合会場は大分スポーツ公園内にあり、同公園への入場は午前6時に開門となっております。あまりに早朝よりおこしになられると、公園付近に混乱を招く事態となりかねませんので節度あるご対応とご協力をお願いいたします。なお、大型バス(中型バスを除く)をご利用のチームは別途対応させていただきますので、事前に事務局にご連絡下さい。
2. 試合当日の会場への入場口は、選手・監督と一般(保護者)とは異なります。監督・選手は1階正面より入場、また一般の方は2階正面となっております。
一般の方の入場口は、席取の関係で例年また、どこの会場でも問題となっているようです。
武道館は、観客席も十分準備されておりますので、事故にならないためにも慌てず節度あるご入場を節にお願い申し上げます。
3. 試合フロア内(1階)への入場は、監督選手、及び役員等関係者のみとなっております、一般(保護者)の入場はできません。
4. 選手の更衣室は、女子については「道場2」前の「女子更衣室」を、男子については「男子更衣室」及び「道場2」をご利用下さい。
5. 審判・監督会議が「8時50分」より「道場1」で行われます。入場そうそう慌ただしいとは存じますが、時間厳守でお集まり下さい。
6. 大会前日の練習につきましては、14時より16時までの間、道場3をご利用下さい。
なお、試合場の使用につきましては、準備終了後に開放するかどうかを検討中です。

以上